

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公開番号】特開2002-46350(P2002-46350A)

【公開日】平成14年2月12日(2002.2.12)

【出願番号】特願2001-154917(P2001-154917)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 B

B 3 2 B 27/00 F

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月1日(2008.4.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 多孔性樹脂フィルム上にインク受容層を備えたインクジェット記録用紙において、多孔性樹脂フィルムが、熱可塑性樹脂 30～90 重量%と、ジアリルアミン塩またはアルキルジアリルアミン塩(a 1)と非イオン親水性ビニルモノマー(a 2)との共重合体よりなる表面処理剤(A)及び陰イオン性表面処理剤(B)により表面処理された無機及び/又は有機微細粉末 70～10 重量%とを含有し、「Japan TAPPI No. 51-87」により測定される液体吸収容積が 0.5 ml/m<sup>2</sup> 以上であり、且つインク受容層の表面光沢度(JIS-Z-8741:60 度測定)が 40%以上であることを特徴とするインクジェット記録用紙。

【請求項 2】 該インク受容層が、平均粒径 350 nm 以下の不定形シリカを 70～95 重量%およびバインダー樹脂を 5～30%含有することを特徴とする請求項 1 に記載のインクジェット記録用紙。

【請求項 3】 該不定形シリカが、平均粒径 1～10 nm の一次粒子が凝集した不定形シリカであることを特徴とする請求項 2 に記載のインクジェット用紙。

【請求項 4】 該不定形シリカがカチオン処理シリカであることを特徴とする請求項 2 または 3 に記載のインクジェット用紙。

【請求項 5】 インク受容層の上にさらにトップコート層を設け、かつ表面光沢度(JIS-Z-8741:60 度測定)が 50%以上であることを特徴とする請求項 1～4 のいずれかに記載のインクジェット記録用紙。

【請求項 6】 トップコート層が平均粒径 350 nm 以下の無機フィラーを 70～95 重量%およびバインダー樹脂を 5～30%含有することを特徴とする請求項 5 に記載のインクジェット記録用紙。

【請求項 7】 該多孔性樹脂フィルムの表面光沢度(JIS-Z-8741:60 度測定)が 20%以上であることを特徴とする請求項 1～6 のいずれかに記載のインクジェット記録用紙。

【請求項 8】 該多孔性樹脂フィルム表面の水に対する平均接触角が  $110^{\circ}$  以下であることを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載のインクジェット記録用紙。

【請求項 9】 該多孔性樹脂フィルムが表面及び内部に空孔を有することを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載のインクジェット記録用紙。

【請求項 10】 該多孔性樹脂フィルム空孔率が 10 % 以上であることを特徴とする請求項 9 に記載のインクジェット記録用紙。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

すなわち、本発明は、多孔性樹脂フィルム上にインク受容層を備えたインクジェット記録用紙において、多孔性樹脂フィルムが、熱可塑性樹脂 30 ~ 90 重量%と、ジアリルアミン塩またはアルキルジアリルアミン塩 (a1) と非イオン親水性ビニルモノマー (a2) との共重合体よりなる表面処理剤 (A) 及び陰イオン性表面処理剤 (B) により表面処理された無機及び/又は有機微細粉末 70 ~ 10 重量%とを含有し、「Japan TAPPI No. 51-87」により測定される液体吸収容積が  $0.5 \text{ ml/m}^2$  以上であり、且つインク受容層の表面光沢度 (JIS-Z-8741:60 度測定) が 40 % 以上であることを特徴とするインクジェット記録用紙である。